

### 周回衛星用衛星資源管理システム

周回衛星では、衛星の動きとともに通信需要を間断なく疎通させるため、回線の容量や使用周波数を動的に割り当て制御する必要がある。KDD では、セルラー方式用周波数最適割り当てや衛星運用計画手法などの独自技術をもとに、1997 年（平成 9）、周回衛星の動的運用計画作成手法を開発した。この方式は、周回衛星がカバーする領域の通信需要を疎通するため、多数のビームの伝送帯域と周波数および衛星電力などを時時刻刻割り当てる手段を提供するものである。ICO 社の実用システム構築が始まると、この方式の有用性が認められ、運用計画作成用の周回衛星用衛星資源管理システムとして開発・納入した。

出典：KDD 社史